

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	医療施設施設整備事業費						予算主管課	医療対策課	
	事業概要	地域医療の安定的な確保を図るため、病院における患者療養環境、医療従事者の職場環境、衛生環境等の改善のために病院が行う施設整備に要する経費の一部を補助する。							始期	2011	
									終期		
	K P I	施設への補助実施率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	68,327 千円	最終現計 予算額	67,939 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	66,539 千円	決算額	62,930 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	引き続き施設への補助を継続し、地域医療の安定的な確保を図る必要がある。								

2	当初	事項	医療施設設備整備事業費						予算主管課	医療対策課	
	事業概要	地域において必要な医療を確保するとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るため、へき地医療拠点病院や病院群輪番制病院等において必要な医療機器の整備に要する経費の一部を補助する。							始期	2010	
									終期		
	K P I	施設への補助実施率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	169,396 千円	最終現計 予算額	181,426 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	106,034 千円	決算額	114,867 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	引き続き施設への補助を継続し、地域において必要な医療を確保するとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図る必要がある。								

3	当初	事項	救急医療対策事業費							予算主管課	医療対策課		
	事業概要	救急医療の確保を図るため、病院群輪番制や小児救急医療体制の整備、二次救急医療体制や勤務環境への支援、広域救急医療体制の構築、救急医療対策協議会の運営等に要する経費を補助する。							始期	1972			
									終期				
	K P I	病院群輪番制実施地区数											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	6 圏域	目標値	6 圏域	目標値	6 圏域	目標値	6 圏域		
		実績値	6 圏域	実績値	6 圏域	実績値	6 圏域	実績値	圏域	実績値	圏域		
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	81,886 千円	最終現計	予算額	83,464 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	75,960 千円	決算額	決算額	76,491 千円	決算額	決算額	千円	決算額	決算額	千円
6 年度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	救急医療提供体制の構築に向けては、一定の継続性が求められる。事業内容については、地域の実情に応じて検討する必要がある。										

4	当初	事項	小児救急医療電話相談事業費							予算主管課	医療対策課		
	事業概要	小児の急な病気・ケガに関する保護者の相談に対し、医師、看護師が電話相談に応じることにより、保護者の育児不安の緩和を図る。また、症状に応じた適切な受診を促すことで患者・医療機関の負担の軽減を図る。							始期	2007			
									終期				
	K P I	電話相談の総件数											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	13288 件	目標値	14272 件	目標値	14272 件	目標値	14272 件		
		実績値	9231 件	実績値	14272 件	実績値	13704 件	実績値	件	実績値	件		
		ストック/フロー	フロー	達成率	107.41 %	達成率	96 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	11,405 千円	最終現計	予算額	11,405 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	9,891 千円	決算額	決算額	7,871 千円	決算額	決算額	千円	決算額	決算額	千円
6 年度	要因分析	要因 新型コロナウイルスが流行していた令和2～4年度は「受診相談センター」を開設していたため、#8000に対する電話相談件数は減少していたが、流行が落ち着いた令和5年度からは、コロナ渦前と同程度（令和1年度13,288件）に戻り、令和6年度も同程度となった。											
		総括											
	見直し方向性	改善	令和7年度はチラシ等での広報活動や、平日の相談対応時間の拡大を行うとともに、通話中のため、電話がつかず相談に至らなかった件数を調査し、調査結果を基にして、令和8年度に回線を増線することも検討している。										

5	当初	事項	消防防災ヘリコプター搭乗医師等確保事業費							予算主管課	医療対策課
	事業概要	医師等が消防防災ヘリコプターに搭乗して救急現場に出動し、救命救急措置等を行った上で患者を医療機関に搬送する（消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運用を行う）ことにより、救急患者の救命率の向上、後遺症の軽減等を図る。							始期	2009	
									終期		
	K P I	ドクターヘリの運航により対応した患者数									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	35 件	目標値	35 件	目標値	35 件	目標値	35 件
		実績値	3 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	実績値	件
		ストック/フロー	フロー	達成率	0 %	達成率	0 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	1,436 千円	最終現計 予算額	1,393 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	368 千円	決算額	368 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p>要因 当県ドクターヘリ及び相互応援協定に基づく近隣県ドクターヘリの出動等でカバーできたため、消防防災ヘリのドクターヘリの運航の出動は無かった。</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	維持	本事業により、救急患者の救命率の向上や後遺症の軽減等が期待されるため、継続して実施する必要がある。								

6	当初	事項	広域災害・救急等医療情報システム運営費							予算主管課	医療対策課
	事業概要	県民に対して医療施設情報や行政情報など幅広い医療情報を提供するとともに、大規模災害時に厚生労働省や他県の医療情報システムとの接続により、広域的な医療情報支援を行う体制の確保を図る。							始期	2000	
									終期		
	K P I	重大な障害により業務に支障が生じた件数									
		KPI種別	下がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
		実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	実績値	件
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	49,312 千円	最終現計 予算額	35,583 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	45,640 千円	決算額	34,386 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	維持	県民・医療関係者に対し、救急や災害時の医療情報の収集及び提供は必要であり、このまま継続する。								

7	当初	事項	救急航空医療学講座設置事業費							予算主管課	医療対策課
	事業概要	ドクターヘリの円滑な導入及び安定的な運航体制を確保するため、愛媛大学の協力のもと、寄附講座「救急航空医療学講座」を設置し、持続的な人材育成が可能な体制の構築と三次救急医療体制の充実・強化を図る。							始期	2021	
									終期	2025	
	K P I	講座教員数の維持									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	4 名						
		実績値	4 名	実績値	4 名	実績値	4 名	実績値	4 名	実績値	4 名
ストック/フロー		フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	
コスト		最終現計 予算額	48,800 千円	最終現計 予算額	48,800 千円	最終現計 予算額	48,800 千円	最終現計 予算額	48,800 千円	最終現計 予算額	48,800 千円
6 年度	要因分析	要因 地域の救急医療及びドクターヘリ搭乗医師確保のため、臨床、教育等を継続実施したため。									
		総括									
	見直し方向性	維持	本講座の設置により、搭乗医療スタッフを確保するとともに、OJT研修等、人材育成にも取り組んでおり、事業目標の達成に貢献しているものと判断している。								

8	当初	事項	ドクターヘリ運航事業費							予算主管課	医療対策課
	事業概要	救急医療体制の充実を図るため、県内唯一の高度救命救急センターである県立中央病院を基地病院、搭乗医療スタッフの協力等を行う愛媛大学医学部附属病院を基幹連携病院としてドクターヘリを運航する。							始期	2016	
									終期		
	K P I	出動件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	300 件						
		実績値	299 件	実績値	284 件	実績値	333 件	実績値	300 件	実績値	300 件
ストック/フロー		フロー	達成率	94.67 %	達成率	111 %	達成率	100 %	達成率	100 %	
コスト		最終現計 予算額	329,503 千円	最終現計 予算額	358,743 千円	最終現計 予算額	358,743 千円	最終現計 予算額	358,743 千円	最終現計 予算額	358,743 千円
6 年度	要因分析	要因 県内消防機関及び医療機関を対象に、ドクターヘリ利用に係る説明を実施し積極的な活用を図ったため。									
		総括									
	見直し方向性	維持	本事業により、救急患者の救命率の向上や後遺症の軽減等が期待されるため、継続して実施する必要がある。								